

## 一般質問

### 水道事業における老朽配管更新及び耐震化について



水道施設や水道管の更新・耐震化

水道施設における耐震化の重要性が示されていますが、耐震化率は低く、全国的に老朽化が進んでいる。よって、管路更新率向上に向けた本市の更新計画を質問。

#### Q 基幹管路の更新・耐震化における優先度について

A 加古川市老朽管更新(耐震化)計画において、日本水道協会が定める「水道施設新指針」に基づき、各管路の老朽度、事故危険度、給水量、避難所や病院への供給ルートを点数化し、優先順位を定めている。

#### Q 更新・耐震化計画(年間10km)の拡充について

A 加古川市老朽管更新(耐震化)計画を策定する中で、将来の水需要を踏まえた長期的な視点により、計画的な更新と更新費用の平準化を検討し、最も効率的に事業費を抑制できる距離が年間10kmとなっている。

市内の何処で老朽配管を更新しているのか解らない状況です。市民の皆様に対して、更新工事の実施状況をホームページに掲載するなど、「見える化」を提言致しました。



谷 真康

### 新型コロナウイルス感染症対策、6月1日から燃やすごみは指定ごみ袋で!



山本 一郎

もう指定ごみ袋以外は買わないで! とお願いしたいくらいです。

#### ① 指定ごみ袋制度開始までの啓発活動について

➔ 告知だけでは不十分で、実際のごみ出しに「指定ごみ袋」を早くから使って頂く事が重要であり、また、指定以外のごみ袋を使い切って頂く事も重要と考えます。6月1日以降に指定ごみ袋以外で出されたごみ袋には、シールが貼られて回収してもらえません。回収されないことで困るのは、町内の方であり、ごみステーション周辺の方だと思っています。

#### ② 新型コロナウイルス感染症対策の対象について

➔ お年寄りなどへの対策も検討すべきではないかと考えます。

#### ③ ポイント還元キャンペーンについて

➔ より幅広い人に利用いただく工夫も、大切ではないかと考えます。

ごみ袋はあと何枚残っていますか? それが無くなったら、「指定ごみ袋」の購入をお願い致します。  
詳しい内容は、加古川市ホームページの「令和3年6月1日から指定ごみ袋制度が始まります。」でご確認頂けます。

### 加古川図書館について

加古川図書館は昭和10年に加古川公会堂として竣工されました。歴史的建造物でもあり、レトロな外観、重厚感ある建造物として知られています。その加古川図書館が令和3年10月から図書館機能をカピル21ビルに移し、建物については書庫として使用する計画となっています。

#### Q 図書館機能移転後、加古川図書館の使用方法について

A 図書館の機能については「移転、休止」、建物については「存廃を検討」を公共施設等管理計画で示してきた。市中心部には図書館機能を持っていき、建物に関しては当面の間、書庫として使用する。



#### Q 将来の活用方法について

A 活用の是非については市民の皆さんから幅広くお聞きする一方で、安全性や経済性、文化的価値などを踏まえじっくり検討したい。

#### Q 文化行政について

A 市民の文化活動や生涯学習を支援する大きな役割を担ってきた図書館であると考えている。



井上 恭子

市民と歴史的・文化的な視点や民間活用について、丁寧な意見交換が必要だと提言致しました。

# かこがわ市民クラブ

加古川市議会



議会報  
2021年  
春号

発行者 かこがわ市民クラブ  
加古川市加古川町北在家2000  
議会事務局 (079)427-9303

## 夢と希望を描き 幸せを実感できるまち 加古川

新型コロナウイルス感染症の影響による先行き不透明な状況が続いていますが、皆さまからのご意見やご要望を受け、私たち党派が市政発展に向け提言してきた事業を含めた新年度予算における本市の取組みを紹介します。

### うるおいのあるまち

#### ごみ減量化推進事業 [3,380万円]

燃やすごみの減量に向け、家庭から出る燃やすごみを対象とする「指定ごみ袋制度」を、本年6月から完全実施します。 ※6月1日以降、指定ごみ袋以外は収集されません



### 心豊かに暮らせるまち

#### 新婚生活支援事業 [4,520万円]

安心して新生活のスタートを切ることができるよう、39歳以下の新婚世帯に対して、住宅取得用、住宅賃借費用、引越し費用等の一部を助成します。(一世帯あたり上限30万円、世帯所得制限あり)



#### 保育園・認定こども園運営事業(紙おむつ廃棄事業) [210万円]

公立保育園・認定こども園において排出される使用済み紙おむつについて、保護者による持ち帰りを廃止し、各園での廃棄を実施します。

### 安心して暮らせるまち

#### 見守りサービス利用促進事業 [440万円]

見守りサービスの利用促進を図るため、従来の認知症高齢者に加え、新小学1年生(令和3年度入学)がサービスの利用を希望する場合、初期費用と月額利用料を無料にします。新小学1年生の無料期間は1年間となります。

見守りカメラ料金を滞れば、同時に検知、通報履歴も自動で記録。  
おトクな仕組みです。



#### がん患者医療用補正具購入費補助事業 [270万円]

がんの治療に伴う外見の悩みを抱えるがん患者に対し、医療用補正具購入費用の一部を助成します。人口乳房、ウイッグについては上限5万円を、補正下着については上限1万円を助成します。

### 活力とにぎわいのあるまち

#### 加古川イルミネーション実施事業 [3,500万円]

加古川河川敷を新たなにぎわいの拠点として活用するため、誰もが楽しむことのできる、光の演出によるイルミネーションイベントを、12月中旬に10日間程度開催します。

### 快適なまち

#### 公共施設マネジメント推進事業 [10億7,000万円]

JR加古川駅周辺のにぎわい創出と利用者の利便性向上を目的に、加古川図書館を加古川駅南ヤマトヤシキが入る「カピル21ビル」6階に、5階には市役所周辺にある、勤労会館、青少年女性センター、国際交流センターの貸館機能や、行政機能の一部を移転・集約します。





村上 孝義

### 「夢と希望を描き 幸せを実感できるまち 加古川」の実現を

2月24日から3月25日の間に、令和3年第2回市議会(定例会)が開催されました。主な内容は令和3年度の予算案や令和2年度の補正予算、条例案件、人事案件などを審議し、全て原案の通り可決、推薦されました。

令和3年度予算総額は1,730億9,471万6千円で、対前年度比1.5%増です。一般会計は923億4千万円と昨年度の過去最高に次ぐ、0.1%減の予算額となっています。主な理由は広域こみ処理施設建設が滞りを越し、日岡山学校給食センターの建設も完了する等、大型事業が減少したためです。

そのような中、新型コロナウイルス感染症対策を最重要課題として、コロナワクチン接種をさまざまな関係先との連携を迅速に図りながら着実に進めています。更に、課題である人口減少克服と地方創生実現のため、新婚世帯や子育て世代に向けた補助事業の新規取組みも進め、結婚から子育てにわたる大切な時間を安心して過ごしてもらえる魅力あるまちに向け推進していきます。また、まちのにぎわいを創出するため、市民の声や意見を取入れながら、官民協働で共に考え実行していく協働のまちづくりを一層加速させていきます。

ハード面では、新設道路工事業、東加古川駅周辺の連続立体交差事業、みとろフールツパークの再整備等、多くの事業が本格化していきます。まさに「夢と希望を描き 幸せを実感できるまち 加古川」の実現に向けた予算となっています。

私たち「かこかわ市民クラブ」は、変化が激しい今後の環境においても、市民の皆さまの声を届け、輝くまち、満足度の高いまちに向け、全力で取組んでまいります。

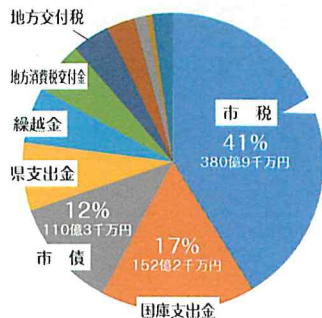


### 令和3年度 一般会計歳入の概要

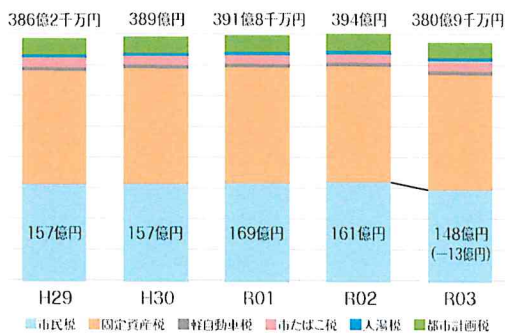
財源である歳入については、市税のうち個人市民税において、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の停滞により、総所得の減少に伴い、減額を見込むとともに、法人市民税も新型コロナウイルス感染症拡大の影響に加え、法人税割の税率が引下げられたことから、前年度より約13億円の減額を見込んでいます。この減額は、国からの地方交付税や本市で積立てている基金を取り崩すなどして賄い、総額で923億4千万円の予算規模となっています。

### 歳入の構成

【総額923億4千万円】



### 市税当初予算額の推移



### 代表質問

#### 市長のこれまでの取り組み、そして今後への思いについて



稲次 誠

#### Q これまでの評価

A 市長 これまで、幸せの実感、郷土愛に溢れるまちを目指し取り組んできた。中でも子育て支援の充実と見守りカメラの設置等、安全・安心の取組の推進は、市民意識調査から実を結んでいると感じる。



#### Q 新年度予算に込めた思い

A 市長 新年度について、まずは安心して生活を送れるよう、コロナ対策と新しい生活様式に適應することに重点を置いている。また、ポストコロナを見据え、まちの魅力づくりとして加古川駅周辺の新たなにぎわい空間の創出など地域活力の向上を図る。このほか、結婚から子育てへの支援、学習環境の整備なども盛り込み、新たな総合計画に掲げる「夢と希望を描き 幸せを実感できるまち 加古川」を実現するための第一歩との思いを込めている。

#### 学校のICT教育への課題と対策について

#### Q 教職員のICTに関する技能や知識の差により、教育に格差が生じないか

A 教育長 学習コンテンツ等を有効に活用するための研修をはじめ、支援員のサポートにより教員間における技能と知識の差の解消を図ります。様々なコンテンツを活用することで、児童生徒個々の習熟度等に応じた学習に取り組めるほか、児童生徒と教員が関わる時間の確保が期待できる。

#### Q ICTを活用した学習により、個性が光る機会をどのように持たせるのか

A 教育長 これまで集団生活の中で、発言しにくい児童生徒の意見も保障できるようになり、自分の意見が授業で生かされる喜びを重ねることで、自信、学習意欲の高まりにつながることを期待できる。

- 今後の加古川市政に関する、ご意見、ご要望等あればお聞かせください。メールアドレス: [kagowacivicclub@yahoo.co.jp](mailto:kagowacivicclub@yahoo.co.jp)まで
- 代表質問、一般質問の詳細な内容は、加古川市ホームページの、市議会のページでご覧いただけます。

### 一般質問

#### 「JR加古川駅北ロータリーにおける現状と将来的な整備方針」について

Q JR加古川駅北のロータリーについては、一般車両とバス等の同一ロータリー内への乗り入れに伴う混雑を解消するため、一般車と公共交通とを分離する施設整備を検討することとなっている。まず一般車と公共交通とが混在している現状に対し、路面塗装などを施し、分離に向けた対策を講じる必要があると考えるがどうか。また、本格的な施設整備に向け、今後どのように進めていくのか。



渡辺 征爾



混雑する夕方のロータリー

A 一般車両と公共交通の広場とを完全に分離する2ロータリー化ではなく、駅北については当初から現状の1ロータリーでの整備を計画している。よって、一般車両や遠通バス等の駐車スペースとして自動車整理場を設置しており、一定の役割を果たしていると考えている。但し、バスなど公共交通の乗降スペース等については、一般車両の駐車を排除する路面塗装等を施すことは可能であり、検討していく。公共交通ターミナル機能を有した施設整備については、加古川駅周辺の都市基盤の整備や、バス路線の再編等を考えるなかで、段階的に検討していく。